



さくら便第1号
天草病院さくら棟
発行責任者 跡上 幸枝

編集責任者 山畑 聖一

〒863-2171
天草市佐伊部J5789
TEL(099)23-6111

「日々気持ちよく」を心掛けて

病棟師長 跡上 幸枝

この6月からさくら棟に勤務となりました。高齢の方が多く、私に課せられたことは何だろつかと考えると、それは、日々の生活の中で、食事はゆっくりとおいしく、お風呂はゆっくりと気持ちいいなど、ごく当たり前のことを皆さんが感じていた、ということだと思います。また当病棟は開設以来、生活機能回復訓練を通して一人ひとりが持つておられる健康な面を、一日でも長く持ち続けていただくお手伝いをしてあります。今後モスタッフと同じ考えの基に努力や工夫をしていきます。



8月5日に毎年恒例の盆踊りが開催され、今年は各病棟がそれぞれの衣装と踊りで、院内通路を踊り歩くという内容でした。工夫をこらした山車や男性の力強い踊り、女性ならではの華やかな踊りにさくら棟の皆さんも拍手喝采！中には行列に混じって踊りに行く方もおられるほどの盛り上がりで、とてもいい表情をして楽しんでおられました。



楽しかった米作り

今年4月、患者さんとの楽しい時間を作れないかという話から、多くの経験者がいらつしやる事もあり米作りを計画しました。早速同月29日

病棟横の広場、発砲スチロールの箱4個に苗を植えてみることにしたのですが、慣れないのはスタッフ一同！手間取っている「違っぞがんじゃないか！」と指導を受けながらの田植えとなりました。それでも患者さんの経験は豊富で早々と植え終えられ、その後はお茶を片手にそれぞれの思い出話をしながらの楽しい時間を過ごしました。



のね

田植えの後、患者さんから「水の加減はどうか、陽のあたりはいいかなど心配を受けつつも無事成長させる事ができ、そしてついに8月11日に稲刈りをしました。全ての作業を患者さんがされたのですが、鎌を使った作業はもちろんの事で、それ以上に驚くのは稲を刈る方、紐でまとめる方、干そうとする方と干しやすい形にして手渡す方などお互い話もしないのに役割分担され取りよく進められていた事です。それから5日干した後、精米し、結局一合ちよっとしか収穫できなかったのですが、芋と混ぜてきこ飯にして新米を味わいました。その間、昔の稲刈りやよく手伝いをしていた事などたくさん貴重な話を私たちも聞く事ができ、色んな苦労を知る機会にもなりました。



とても慣れた手作業です！



経験を感じさせられます

行事予定

- 9/18...敬老会・誕生会(8・9月生)
- 11月...病院祭
家族教室
誕生会(10・11月生)
- 12月...クリスマス会
誕生会(12月生)

お詫び

6月に予定していたバス遠足は、病棟都合により中止させていただきました。

編集後記

今年は恒例の運動会が雨の影響で2度にわたり中止となり、最近の悪天候には本当に悩まされます。



七夕会 誕生会(6・7月生)

7月3日、誕生会(最高年齢89歳の後に大きな竹に願いを込めた短冊を皆さんと飾り付けました。笹竹は、日本独自の祭り。竹は1日に1メートル近くも伸びることがあると言われるほど成長が早く、願いを託して天に届くようにという気持ちで込められていたという説があります。元気でいられますように」といふ願いや、なかには「もう一度大きな声で歌いたい」といふ願いもありました。皆さんの願いが届くといいですね。

第17回家族教室を終えて

7月29日面会室にて家族教室を開きました。病棟主任の浦中より、認知症の方への対応についてパンフレットを用いた説明で、今回6家族9名の家族の参加のもと無事終えることができました。終了後の質問では「迎えに来いと言われ困っていたが」、「夜の過ごし方は?」、「歩き回る事はありませんか?」などご家族が抱える不安の声が聞かれ、スタッフにとってもよい交流の場となりました。次回は11月に「冬の感染症」を予定していますのでご都合つかれた際はいつでもお越し下さい。

